

「学生のおもしろ企画・大学祭企画」実施報告書

※整理番号：

企画名
建築文化週間学生グランプリ 2022 銀茶会の茶席 作品募集への参加 (A チーム)
実施日
令和 4 年 6 月 17 日 (金) ~ 令和 4 年 10 月 31 日 (月)
実施場所
日本建築学会建築会館ホール
企画代表者の氏名, 所属
氏名: 嶋田駿斗 所属: 先進理工系科学研究科
構成員の氏名
山田誠人、大呂直樹、高田愛梨、嶋田駿斗
指導的立場の教員氏名
中藺哲也 准教授 先進理工系科学研究科
企画の目的及び内容
茶会の企画・設計、製作を行い銀茶会の茶席に応募します。活動を通して学生が茶席の提案を考え、提案書と 1/10 模型を作製し、大会で入選した場合は、1/1 模型を製作します。実際に使用されることを想定して茶室を設計、製作する経験を通じて、建築のおもしろさや総合的なものづくりを経験することができることを目的としています。
来場者数
300 名程度
主催・後援団体（外部のコンテスト等に参加する場合は、そのコンテストの規模）
主催：日本建築学会 共催：銀座通連合会 「銀茶会」は 2022 年で 20 回を迎える、銀座通りの周辺にお茶席を設けて行われる野点大茶会です。2009 年から、銀座三越の会場にて学生の設計・制作による学生創作茶席を展示・使用しており、例年 40 から 50 作品程度の応募作品があります。
活動の内容（準備、広報活動、当日の様子等）
まず、チーム内でコンセプトを決めることから始めました。今回の大会のテーマが「秋の空」だったため鱗雲と紅葉が移り変わる茶席空間をコンセプトとしました。 素材を突板と再生紙とすることで、資源の有効活用を行いながら、二つを組み合わせることとしなやかさと強度がある、しなやかな曲面をもつ茶席空間を目指しました。 そのような方針のもと、1/2 の模型でパターンをつくることで、形や接合などの方法を検討していきましました。具体的には、茶席空間を成立するための入り口の取り方・突板材の検討・突板と和紙の見え方などを検討しました。また 1/1 模型での施工段階で効率よく作業を行うために、部材接合が簡単になるように検討を行いました。

(裏面に続く)

「学生のおもしろ企画・大学祭企画」実施報告書 (裏面)

アンケートの結果（来場者にアンケートを実施した場合のみ）

アンケートは実施しておりません。

成果・課題

審査の結果、審査員賞を受賞しました。突板と和紙を貼り合わせるという操作でつくった必要最小限の構造材による茶室であること・表裏での材質感の違いや、構造材の厚みが、自然に近い様々な着想をつくり出していることが評価されました。
2次審査に進めなかったものの、1/1 スケールで実現することに向けて素材や構造、ディテールを検討する経験を通して、建築のおもしろさと難しさを経験することができました。

課題としては、形態や構造をより工夫できる余地があることがあげられます。

実施風景（写真）



写真1 接合などの検討

写真2 突板パーツの検討



写真3 1/2 スケールの検討模型

【提出方法】指定された期限までに本紙を作成の上、電子ファイルで提出してください。

E-mail でも受け付けます。

【提出先】工学系総括支援室 (kou-gaku-gakubu@office.hiroshima-u.ac.jp)